

ラパン

EPS(電動パワーステアリング)自己診断要領

- 適応車種:ラパン(HE21S)
- 適応年式:平成 14 年 1 月～

EPS(電動パワーステアリング)自己診断要領に関して記載しますので、参考にして下さい。

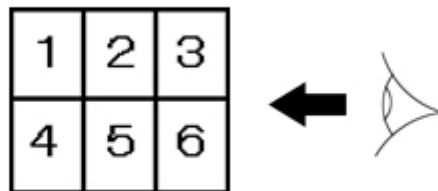
尚、この車両のEPSは故障診断機との通信機能が無い為、故障診断機による故障コードの読み出しは実行できません。

故障コードの表示

1. ダイアグカプラの3番端子と4番端子を接続して下さい。

※注意※

ダイアグカプラ(黒色6極)は運転席インストルメント下部になります。

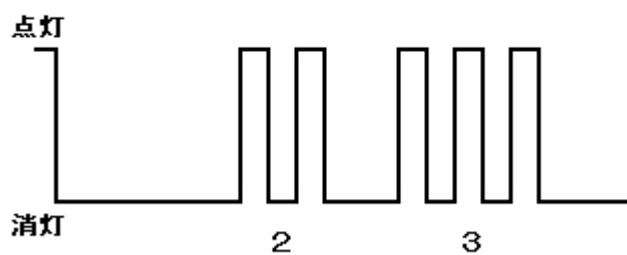


〈図:ダイアグカプラ〉

2. エンジンを始動して下さい。

3. コンビネーションメータ内のEPS警告灯(エンジンチェックランプ上)が点滅し、故障コードが表示されます。

故障コード23番の表示例:



〈図:故障コードの表示例〉

故障コード一覧表

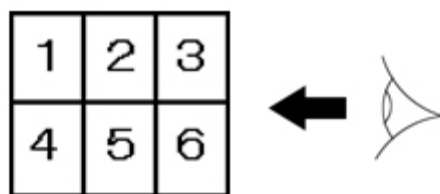
故障コード	内容		フェールセーフ
12	正常		
11	メイントルクセンサ系統異常	メイントルクセンサ出力電圧が高い、又は低い	フェールセーフ リレー、モータを OFFにする
13	メイン/サブトルクセンサ 信号不一致	メイン/サブトルクセンサ出力電圧の差が大きい	
14	トルクセンサ 5V 電源系統 異常	トルクセンサ 5V 電源電圧が高い、又は低い	
15	サブトルクセンサ系統異常	サブトルクセンサ出力電圧が高い、又は低い	
21	車速センサ信号無入力 (60 秒以上)	<ul style="list-style-type: none"> エンジン回転数 2500rpm 以上 60 秒間車速信号入力が無い 	アシスト量を 最低状態にする
22	エンジン回転速度入力系統 異常	エンジン回転数が 220rpm 未満	モータ電流を 段階的に減少させ モータを OFF する
23	車速センサ信号無入力 (30 秒以上)	<ul style="list-style-type: none"> エンジン回転数 2500rpm 以上 30 秒間車速信号入力が無い 3トリップ 	アシスト量を 最低状態にする
24	車速センサ異常減速	<ul style="list-style-type: none"> 20km/h 以上で走行中 基準減速速度以上減速し、減速後の車速が 5km/h 未満で 5 秒間続いた 	
41	モータ電圧系統異常	モータ端子電圧が高い、又は低い	フェールセーフ リレー、モータを OFFにする
42	モータ電流系統異常 1	電流指示値に対して実測値が高い	
43	モータ電流過大	モータ電流実測値が高い	
45	モータ電流系統異常 2	電流実測値に対して指示値が高い	
52	フェールセーフリレー溶着異常	コンピュータ内のフェールセーフリレーOFF を 指令しているにもかかわらず、リレーON 状態	
53	バッテリー電圧低下	コンピュータ内のフェールセーフリレーON 時 にリレー電圧が低い	モータ電流を段階 的に減少させ、 モータを OFF する
54	フェールセーフリレー接点異常	エンジン始動時、フェールセーフリレーON を 指令しているにもかかわらずリレーOFF 状態	
55	コントローラ内部異常	コンピュータ内部の異常	フェールセーフ リレー、モータを
常灯	コントローラ異常発振回路不良	CPU 動作不良	OFF、又はモータ 電流を段階的に 減少させ、モータ を OFF にする

故障コードの消去

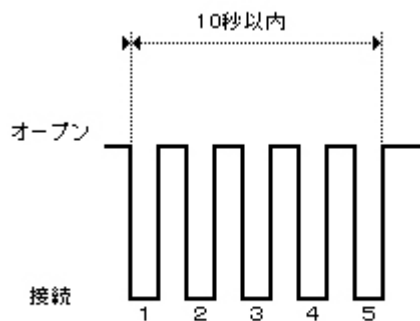
1. IG SW を ON にして下さい。
2. ダイアグカプラの3番端子と4番端子間を10秒以内に以下のタイミングで5回以上接続→オープンして下さい。

※注意※

ダイアグカプラ(黒色6極)は運転席インストルメント下部になります。



〈図:ダイアグカプラ〉



〈図:オープン→接続のタイミング〉

3. 故障コードが消去されます。